

大山崎町留守家庭児童会指導の重点と留意点

大山崎町留守家庭児童会育成事業の指導をするにあたり、今年度、特に努力すべき指導内容の重点と留意点を次のようにして進めていきます。

I、指導の重点

- 1、生命の尊重を徹底させ、みずから発達する力と、生きる意欲を育てるよう指導する
 - ※ “命の尊さ”をみんなで自覚、認識しあう取り組み
 - ※ 一人ひとりの子どもの状況を正しくつかむ指導
 - ※ 安全指導の徹底
 - ※ 仕事、あそびなどに意欲をもち、最後までやりぬく力を身につける
- 2、基本的な生活習慣を体得させ、生活をきりひらく術と意欲をもった身体づくり
 - ※ 生活リズムの確立—父母と共に 家庭—学校—地域
 - ※ みんなで決めたきまりをみんなで身につける指導
 - ※ 体力をつける
- 3、生活学習、生活勉強の重視
 - ～自然と社会に対する科学的認識を身につける～
 - ※ 学校での基礎学力を生活の場で生かせることが自覚できる指導
 - ※ 自覚性を高める話しことばと思考力づくり
- 4、異年齢集団の中での成長を重視する人格づくり
 - ※ 異年齢集団の中での役割、分担を通し主人公としての自覚
 - ※ 集団の中での約束、きまりごとの重視

II、指導上の留意点

- 1、指導を進める際は、父母等の関係者に現状と課題を提起し、理解、協力を深める
- 2、地域、学校等のつながりを重視し、全体の子どもの状況を正しくつかみ、共に協力、理解をすすめていく
- 3、指導員研修に努め、指導の向上をめざす

めざす子ども像

- ※ ふるさと大山崎の自然を大切にし、ふるさとをみつめ、自然を認識していける子どもに
- ※ みんなで力をあわせ、決めたことは守り、自分の意見をいえる子どもに
- ※ 手、足、頭をつかい、自分たちであそびや活動をつくっていく子どもに
- ※ 働くことにほこりをもち、喜びをもてる子どもに
- ※ 命を大切にし、生きる意欲、生活をつくっていける子どもに